

川口都市計画第一種市街地再開発事業の変更(川口市決定)

都市計画川口本町4丁目9番地区第一種市街地再開発事業を次のように決定する。

名称	川口本町4丁目9番地区第一種市街地再開発事業						
施行区域面積	約 0.7 ha						
公共施設の配置及び規模	道路	種別	名称	幅員	延長	備考	
		幹線街路	3.3.39 善光寺荒川線	13.2m (25m)	約 100m	都市計画決定済 幅員の()書きは標準幅員	
			3.4.64 環状本町飯塚線	13.5m (18m)	約 65m	都市計画決定済 幅員の()書きは標準幅員	
		区画道路	市道 中央第53号線	2.7m (5.4m)	約 120m	整備済 幅員の()書きは認定幅員	
			市道 中央第54号線	3.0m (6.0m~9.2m)	約 17m	整備済 幅員の()書きは認定幅員	
	下水道	公共下水道					
建築物の整備	街区番号	建築物		敷地面積に対する		主要用途	備考
		建築面積	延べ面積	建築面積の割合	延べ面積の割合		
	1	約 2,000 m ²	約 24,500 m ²	約 6/10	約 35/10	住宅 商業 業務	川口都市計画 高度利用地区(川口本町4丁目9番地区)に適合するとともに、健全な高度利用形態になるよう配置する
建築敷地の整備	街区番号	建築敷地面積	整備計画				
	1	約 4,800 m ²	壁面の位置の制限による歩行者のための空間を確保するとともに、広場等の有効な空地を整備し、市街地の環境の向上を図る。				
住宅建設の目標	戸数						
	約 220 戸						

「施行区域、公共施設の配置、街区の配置は計画図表示のとおり」

理由

当地区は、JR 川口駅東口から南に約400mの準工業地域内に位置し、6棟の未接道住宅を含む老朽化及び密集した木造住宅、旧耐震の共同住宅(56世帯)などが混在しているため、防災上非常に危険な地域である。

このため、防災上重要な都市計画道路(善光寺荒川線)の拡幅整備やその他の当該地区2方向道路に接する歩道状空地の整備、さらに、建物の共同化により、災害時に一時避難場所となる広場を整備することによりゆとりある空間を確保し、建物の不燃化による安全な市街地の形成を図ること、地域住民主体の防災まちづくりを促進する。